



かみさと



議会 だより

- ◇9月定例会の審議状況……………P 2
- ◇令和6年度決算審査報告等……P 4
- ◇9月定例会一般質問に9人……P 6
- ◇研修会、委員会レポート等 ……P15
- ◇12月定例会会期日程等 ……P18



▲七本木公民館定期利用団体の皆さん

詳細はP3へ

第5回 8月 臨時会

8月7日

第5回8月臨時会は8月7日の1日間の会期で行われ、町長提出議案1件を審議しました。

第5回8月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	物品購入契約の締結														
議員名	石井慎也	伊藤覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡壽	齊藤崇	植原育雄	高橋正行	新井實	香澤幸子	高橋仁	黨浩之	結果
	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。
(○賛成 ×反対)

契約

物品購入契約の締結

要旨 学習者用タブレット端末等購入の物品購入契約を締結するものです。

・契約金額 8862万2459円
・契約業者 富士電機ITソリューション(株)

第6回 9月 定例会

9月4日
～10月1日

第6回9月定例会は9月4日に開会され、議員9名の一般質問と町長提出議案等23件他を審議して10月1日に閉会しました。

条例

要旨 上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

要旨 公職選挙法施行令の一部を改正する政令が令和7年6月4日からされたことに伴い、ピラ・ポスターの作成に係る費用の公費負担の限度額を同法施行令で規定する金額と同額に引き上げる改正を行うものです。

要旨 上里町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

要旨 住民基本台帳・地方税等を扱う基幹系業務システムについて、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律及び地方公共団体情報システムの標準化基本方針に基づき、全国の自治体が同法に定められた20業務を対象に、今年度中に標準準拠システムへ移行することが求められていることに伴い、改正を行うものです。

要旨 上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び上里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 育児休業、介護休業等、育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律及び地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い改正を行うものです。

要旨 上里町税条例の一部を改正する条例

要旨 地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、個人町民税に係る各種控除の所得要件が引き上げられ、また特定親族特別控除が新設されたことに伴い、規定の整備を行うものです。あわせて、町たばこ税に係る加熱式たばこの紙巻たばこへの換算方式が見直されたことに伴い、規定の整備を行うものです。

要旨 上里町事務手数料条例の一部を改正する条例

地方公共団体情報

システムの標準化に関する法律の施行等に基づき、本町の基幹業務システムが標準準拠システムへ移行することに伴い、改正を行うものです。

要旨 上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

要旨 県の補助事業として実施している重度心身障害者医療費支給事業において、県が身体障害者手帳1級、2級、3級、療育手帳①、A、B、精神障害者保健福祉手帳1級に加え、2級まで対象者を拡大するため、町でも同様に対象者の拡大を行うための改正を行うものです。

人事

要旨 固定資産評価審査委員会委員の選任

要旨 現委員の任期満了により、新しい委員の選任について提案するものです。

要旨 教育委員会教育長の任命

要旨 現教育長が、9月30日をもって任期満了となるため、再任を提案するものです。

教育委員会委員の任命

要旨 現委員の任期満了により、後任者の任命を提案するものです。

◆◆ 令和7年度補正予算 ◆◆

上里町一般会計補正予算 (第4号)

概要 歳入歳出それぞれ3億3953万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ134億3015万1千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・ 財政調整基金積立金 1億4千万円
- ・ 公共施設等用地取得及び施設整備基金積立金 1億8百万円

- ※ 国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の補正予算も提出され、原案のとおり可決されました。

◆◆ 契約 ◆◆

工事請負契約の締結

要旨 藤木戸地内外（藤木戸・勝場線）道路改良工事の工事請負契約を締結するものです。

物品購入契約の締結

要旨 タブレット端末用ソフトウェア購入の物品購入契約を締結するものです。

◆◆ 意見書 ◆◆

要旨 1件の意見書を国へ提出することについて審議したものです。

刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書 (案)

琴美月 虹グループ
(表紙、下) 毎週木曜、9時半から七本木公民館で大正琴の練習を和気あいあいとしています。週に1度仲間と顔を合わせおしゃべりするのが楽しみです。時には、おしゃべりしすぎて先生の喝が入ることもあります。元気にお稽古をしています。

今号の表紙 ひまわりの会
(表紙、上) 毎週金曜、13時半から七本木公民館にて活動しています。演歌や歌謡曲など身近な音楽に合わせて、自由に振り付けをする新舞踊です。若さと健康、地域の仲間作りをモットーに楽しく集う踊りの仲間です。

第6回9月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案		議員名										結果					
		石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之	結 果	
議案第44号	上里町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第45号	上里町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第46号	上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び上里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第47号	上里町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
議案第48号	上里町事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第49号	上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第51号	教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第52号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
令和7年度	議案第53号	上里町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	上里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第55号	上里町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第56号	上里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第57号	上里町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度	認定第1号	上里町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定	
	認定第2号	上里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定	
	認定第3号	上里町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定	
	認定第4号	上里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定	
	認定第5号	上里町水道事業剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第6号	上里町下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第7号	上里町農業集落排水事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第59号	物品購入契約の締結	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書(案)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)

令和6年度決算に対する決算特別委員会の質疑事項(抜粋)

9月11日、議員12名で構成する決算特別委員会が設置され、各会計の決算内容の審査が付託されました。決算特別委員会では、9月16日から24日までの6日間に渡り、各課の関係職員の出席を求め、令和6年度決算に対する審査を実施いたしました。



ハラスメントアンケートについて

問 相手方として回答が多かったところはどこか。

答 ハラスメントを受けた関係性のトップ3は、1位「上司から部下(33%)」、2位「町民から再任用・会計年度任用職員(窓口)(31%)」、3位「町民から再任用・会計年度任用職員(電話)(26%)」

納税 納付方法について

問 口座振替やコンビニ収納数は減少しているがスマートフォン決済は増加している。税務課としてはどの納付方法が一番事務的に助かるのか。

答 費用が少なく、納付忘れもないため口座振替が一番ありがたい。

防犯まちづくり事業について

問 空き家バンク運営にあたり負担金は生じているのか。

答 総合政策課にて予算化し、支出している。財源として、幹事市において県補助金を活用している。

保育料無償化事業について

問 当初予算(約6500万円)と最終的な負担額に差が出た理由は。

答 出生数の増加による対象児の増加や、無償化をきっかけに就労者が増え、入所希望者が増加し、これにより無償化に係る町負担額が増加したと考えられる。

買い物支援について

問 移動スーパーは、売り上げを重視しているのか。買い物難民への支援として実施しているのか。

答 カスミが人件費や車両等すべての経費を負担している状態で、利用者がいないと商売が成り立たないということはある。町としては、将来高齢化が進行し、買い物に困る方が多くなる時を想定し、それまでに定着したものを作っていきたいと考えている。

保健センターについて

問 保健師は足りているのか。

答 退職者等で現在保健師4人欠員状態。保健・福祉分野は特に、ここまでやれば良いというのが決まっていないため、よりよい支援のためには人数が必要となる。

特産品開発事業について

問 上里梨リキュールの製造、販売本数は非公表とのことだが、本数を公表して、1か月に何本売れましたというアピールの仕方もあると思うが。

答 供給量に関して、原料の確保などの課題がある。そのため、過度なアピールは需要と供給のバランスを崩し、商品イメージの低下を招く可能性がある点を懸念している。

民地管の布設替工事について

問 完了までにどれくらいの期間を要する計画なのか。また、令和6年度実施延長とその口径は。

答 令和6年度布設替え延長は573mで、主な口径は50mm。期間としては、20年計画で平成30年から令和19年までであるが、前倒しで完了できる見込みである。

道路維持補修事業について

問 小規模工事は職員が今年はこれでいこうと決めているのか。それとも住民要望を含んだものも入っているのか。

答 要望箇所も含まれている。また、地元区長から側溝蓋や水がたまるので柵の設置等の要望をかなえるため発注している。

賀美小学校屋外トイレについて

問 工事請負費が、長幡小学校屋外トイレよりも高い理由は。

答 人件費や物価等は当然上がっている。仕様を大きく変えてはないが、前年度の工事内容を踏まえて若干の改善をすることはある。また、現場の状況により仮設費等も違うため、そうしたことが工事費の違いに関係しているという実情がある。

英語検定料補助金について

問 町内に住んでいても、私立に通っていると対象外なのか。拡大する予定は。

答 現在は対象外だが、前向きに検討する。



現地確認(神流リバーサイドロード)

令和6年度 決算審査報告

10月1日の本会議において、決算特別委員会委員長より決算審査について報告されましたのでその一部を紹介します。なお、令和6年度の決算額等については、「広報かみさと11月号」に詳しく掲載していますので省略します。

決算特別委員会

委員長 伊藤覚

総務課の審査では、職員アンケート調査でハラスメントを受けたとの回答があったと聞きました。今後の各種ハラスメントへの対応や対策について、再度検討し職場環境の改善に努めて頂きたい。

税務課の審査では、納税において口座振替は手数料が少なく、町の負担が軽くなります。口座振替依頼書が役場窓口でも受理できるようになったので、もっと周知して頂きたい。

くらし安全課の審査では、空き家については防犯面や町の景観面からも対策が必要です。埼玉空家バンクへの相談は年2件と低迷しているので、広報にチラシを入れ、各公民館で相談会を実施するなどして相談者を増やして頂きたい。

子育て共生課の審査では、保育料の無償化により出生数が増えているのはその恩恵なのでしょう。また、その期間だけ上里に住定し、卒園後に他市町村に転居する方もいると思われるので調査して頂きたい。

高齢者いきいき課において、(株)カスミの移動スーパーは、利用者が少ないとの話を伺っているが、廃止となった場合には再度の立ち上げは難しいと思います。協定に基づき実施していると思いますが、長期に渡り継続して実施していただけるよう対策を講じて頂きたい。

健康保険課の審査では、保健師について現在4名少ないとの事でしたが、職員が不足すると実施出来ない事業もあり保健センターの運営が滞ります。また、新しい保健センターが稼働すると業務も増えると思いますので、保健師の増員をして頂きたい。

町民福祉課の審査では、簡易セルフメンタルチェックシステム「こころの体温計」は、HPの町民福祉課のページにこのサイトがあり、非常にわかりにくい。昨年も、利用しやすくするためにはHPのトップ画面からサイトに入れるようにするべきです。と報告しましたが何ら変わっていませんので早急に対応して頂きたい。

総合政策課の審査では、経常収支比率が96.6%となり、財政構造の弾力性が失われつつあります。そこで、事業費においては、補助金や交付金を上手に利用し、町の身の丈に合った事業の実施に取り組むとともに、人件費においては、人員の適正配置に努めて頂きたい。

地域活力創造課の審査では、官民連携の梨リキュールが大好評であったので大変評価できる。今後も農業振興課と密に連携し、他の農産物でも研究して商品化して頂きたい。

農業振興課の審査では、夏場に行っている排水路管理作業は地権者の高齢化も進み年々参加者が減っており継続が厳しくなっています。また、酷暑の中で高齢者が行う草刈りは大変です。先々に負担が残らないよう持続可能な方法を検討して頂きたい。

まちづくり推進課においては、駅北まちづくり事業において、神保原駅橋上化に関しては、令和6年12月の全員協議会では半橋上化には約20億円かかると聞きました。令和6年度の経常収支比率も上昇し財政状況が悪化している中、費用対効果も考え、町内のどの事業を優先していくのか良く考えて頂きたい。

生涯学習課の審査では、決算書に記載されている長幡公民館解体工事費だが、決算説明書ではそこに含まれている旧長幡公民館雨水対策工事が別事業で記載されていた。急遽の工事との説明であったが、今後このような場合は事前の説明を頂きたい。

上下水道課の水道事業においては、民地管の布設替え工事が計画より早く進んでいるとの事は評価できる。下水道事業は整備の終わっている地域の接続率を上げる取り組みを継続して実施して頂きたい。

道路整備課の道路維持補修事業について、道路の維持補修は優先順位をよく考え計画的に進めて頂きたい。

教育総務課の審査では、小学校管理運営事業においては、今後児童数の減少が考えられる中で長期的運営を視野に入れた場合、大規模改修等については財源も考慮し、将来的に無駄にならないよう効率的に進めて頂きたい。

教育指導課の審査において、英語検定料補助金は、町内の小中学校に在籍していないと補助対象とならないので、公平性の観点から上里町在住の小中学生全てを補助対象として頂きたい。

その他の課についても、厳正に審査しました。





伊藤 覚

問 金久保神社公園にあずまやを設置してはどうか

答 ベンチやテントなどの備品なら相談頂きたい

1 金久保神社児童遊園に隣接している町有地について

問 令和6年4月1日、金久保老人クラブ会長や金下、金上区長をはじめとしたボランティア16名により、金久保神社公園と命名し、運営、維持管理を行うことを目的とした金久保神社公園サポート委員会が設立された。現在は、花いっぱい運動や、地元からの補助金を運営費として、金久保地区コミュニティの場所として花壇を作り、植栽や水やり、草刈りなどを行っているが、日陰やベンチが無いので、太陽が照りつける猛暑の中、立ったままで給水、休憩をしている。ボランティアの地域住民からは、管理活動時には休憩ができたり、訪れた人が休憩したり、獅子舞の子どもたちが休憩するのに、あずまやが欲しいという声があがっているが、委員会の予算であずまやを建てるのは無理なので町にあずまやを設置してほしい。

答 町の公共施設等総合管理計画では、新たな公共施設の設置は行わないとされている。あずまやの整備には、比較的小さなものであっても数百万円の費用が見込まれるので、このような公園施設を町が新たに設置することは、非常に難しい状況である。しかしながら、地域住民の皆様が自らの手で憩いの場をつくり、管理していかうとするコミュニティの活動は、町民主体の町づくりそのものである。大変すばらしいものである。今後も、既存の事業を工夫する形で、できる限りのお手伝いをさせていただきます。

問 一般的なあずまやの設置が難しいというのであれば、例えば長方形の物や、固定式ベンチではなく、移動式ベンチなどの設置はできないか。

答 休憩用のベンチやテントなどの備品であればお手伝いできるかもしれない。役場の担当者には是非相談していただければありがたい。

2 高齢者を特殊詐欺から守ることについて

問 金久保神社公園の整備に伴い、公園に隣接する北側の農地を駐車場として利用できれば、利便性が高まるのではないか。

答 この土地の地目は農地なので、駐車場の整備には農地法の制限があり、農地転用は原則的に不許可とされており大きな課題がある。

問 相変わらず特殊詐欺のニュースが頻繁に報道されているが、固定電話での被害者の多くは60代から80代の高齢者である。特殊詐欺対策については、国や各通信会社でも様々な対策を行っているのですが、高齢者にはもとより、全町民が被害に遭わないよう、その周知方法として、ホームページや広報かみさとへの掲載、回覧板や公共施設へのポスター掲示、防災メールやSNSでの発信も効果的だと思われる。町ができる対策を早急に実施していただきたい。



金久保神社公園

答 特殊詐欺は高齢者が狙われることが多いため、地域包括支援センターでは、高齢者宅への訪問時や介護予防教室などで注意喚起を行っている。今後も各種事業や老人クラブの行事などの機会を活用して、特殊詐欺被害防止の予防手段や、総務省の迷惑電話対策相談センターなどの周知を行っていく。また、いきいきラウンジにおける事業の中でも、警察による特殊詐欺の講話や高齢者向けのスマートフォン教室等の開催を考慮しており、その中で迷惑電話防止の設定などの案内もしていく。



石井 慎也



問 デジタル地域通貨を導入してはどうか

答 研究、検討していく

質問 1
田んぼダムについて

問 水田の雨水貯留機能の強化を図り、周辺の農地や集落、下流域の浸水被害リスクの低減を図る「田んぼダム」という取組がある。町全体で田んぼダムの取組ができるように環境整備を行い、防災・減災に取り組んではどうか。

答 関係者間で協議を重ね、理解を深め、地域全体の協働による継続的な取組がないと、田んぼダムは実施できないと考える。

問 多くの雨水を田んぼに貯めるために、あぜを高くする機械を農協と相談し、農家に貸し出すことはできないか。

答 農業者や地域住民、場合によっては農協等の関係機関と情報を共有しながら今後、可能性を検討していく必要がある。

質問 2
地域通貨について

問 特定の地域、コミュニ

ティー内でのみ使用可能な地域通貨はデジタル化の進行に伴い、電子マネーや電子ポイントとして活用されるようになってきた。地域通貨をポイントにして配布することもできるようになり、経済だけでない地域活性化が生まれると言われる。上里町もデジタル地域通貨の導入を検討してはどうか。

答 他自治体における導入事例や国・県による推進策を調査し、費用対効果や町全体への影響を見極めることが重要である。上里町の持続的な発展を目指して、デジタル地域通貨が有効な手段となるかどうかを研究、検討していく。

問 デジタル地域通貨をふるさと納税の返礼品にしてはどうか。

答 町全体に対する影響を含めて研究していく。

質問 3
駅北まちづくりについて

問 神保原駅北の大型商業施設跡地の地権者が民間事

業者と数年間の契約を結んだと報告を受けた。この場所は神保原駅北まちづくり計画のまちなかふれあいゾーンの一部になるが、駅北まちづくり計画に支障をきたすのではないかと考える。今後、どのように駅北まちづくりを進めて行く予定なのか。

答 民有地なので地権者の利活用を制限する権限は町にはない。地権者様と綿密な協議を続けていく。

問 地権者様との用地交渉が大詰めになってきていると伺っていたが、なぜ民間事業者が入ってきて契約を結んでしまったのか。

答 塩原学園の移転に際する交渉段階の話と私は理解している。白紙になった後は大詰めという言葉は使った記憶がない。

問 最終的に町が目指している駅北まちづくりの展望は。

答 国が全国共通の都市政策として進めているコンパクトシティの考えに基づき、将来にわたり持続可能な都

市を目標にしている。中心地で暮らすことが魅力的なものであると理解していただき、自然と誘導していくことが理想的な政策実現と考えている。

問 コンパクトシティを進める事は一部地域だけが盛り上がり、他の地域には何も恩恵が無いように感じるが。



→ 民間事業者と契約を結んだ大型商業施設跡地



高橋 勝利

問 若者たちの町づくりの受け止めは

答 民の力での町づくりに感銘している

質問 1 若者たちの町づくり
推進について

問 町の有志による空き家再生の取り組みについて、どのように受け止めたのか。

答 神保原駅前通りの駄菓子屋、和田山トイについては、解体の危機があったところ、地元有志の方が存続のために立ち上がり、建物が再生されたことをうれしく思っている。また、この再生プロジェクトには、町出身の建築を専攻する大学生と地元有志の方、町内で活躍される建築家などが協力して立ち上がったと伺っている。町づくりは、町が行う道路整備などのインフラ整備だけではなく、住民が主体となる民の活動と連携されてこそ最大限に効果が発するものと考えている。

質問 2 上里町人の動きに
こころ

問 日本全体で少子・高齢化が進む中、上里町は以前から、世帯数と人口の増減

が比例していない状況である。この現状をどう分析しているのか。

答 我が国は、人口減少と高齢化に直面しており、地域社会の維持が課題となっている。その対策として、平成26年に国がまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方公共団体にも地方版戦略の策定が求められた。上里町では、平成28年に第1期戦略、令和2年に第2期戦略を策定し、地域活性化への取組を継続してきた。戦略の成果として、第2期上里町人口ビジョンによる将来推計人口と令和2年度国勢調査実績を比較したところ、推計値を110人上回る3万343人という結果が得られた。

質問 3 上里町道の駅構想に
こころ

問 道の駅上里実現に向けて、県・国に対して強い要望を出してもらいたい。

答 道の駅については、制度発足当初、主に通過する道路利用者へのサービス提

供を目的としていたが、近年では、農業、観光、福祉、防災といった地域の個性や魅力を生かした取組が進展し、地域活性化における重要な拠点としての役割を果たしている。上里町では、

地域経済の振興のみならず、防災機能の強化、地域福祉の充実、観光振興、コミュニティ活性化など、地方創生の中心的な拠点としての道の駅を整備することを目指し、慎重に検討し、その成果として、令和7年6月の全員協議会において、上里町道の駅基本構想（案）について報告した。

質問 4 複合施設完成に伴う周辺
環境整備について

問 施設完成に伴う周辺の環境整備について。

答 現在、神保原駅南大通り線や、役場北側の駅南東西線沿いに、高木ではハナミズキやイチヨウ、低木ではツツジが沿道や道路利用者の皆様へ親しみと潤いを与え、美しい景観を創出するとともに、大気の浄化や



こむぎっちテラス工事の様子

騒音の軽減、夏の日差しを遮り、路面の温度上昇の緩和と良好な生活環境の確保といった様々な役割を求め植樹されている。植え込みの整備に関しては、毎年街路樹の維持管理委託を発注し、年1回の樹木剪定や落ち葉の撤去、年3回の除草などを行っている。役場北側のイチヨウの木4本については、こむぎっちテラス完成後に支障が出るようなら、樹木剪定を検討する。駅南のロータリーも含む神保原駅南大通り線や、駅南東西線沿いの良好な生活環境の確保並びに景観の両立ができるよう、街路樹の適正な管理を実施していく。



一般質問



新井 實

問 神保原駅北まちづくり推進事業について

答 まちづくりビジョンを県が評価、事業化へ

1 名古屋市と横浜市で起きた
教員の盗撮事件について

問 事件の全容を早急に解明し、再発防止に全力を尽くすことについて。

答 教育長 今後、上里町の教育委員会として取り組む項目として、①児童・生徒性暴力等の防止等に関して、教師の服務規則の確保の徹底。②教師と児童・生徒等が第三者の目が行き届きにくい環境となる場面をできる限り減らしていく。③盗撮防止に当たっては、教室やトイレ、更衣室等の定期的な点検を行う。④教室等での教師個人のスマートフォン等の私的な端末の使用を禁止する。⑤児童・生徒等や教師等に対する定期的なアンケートを実施する。⑥相談できる環境の整備などに取り組んでいく。

2 在留外国人政策に
ついて

問 外国人との共生や社会統合を進める骨太の論戦を期待することについて。

答 本町においても、外国人住民は年々増加しており、地域の重要な構成員として生活している。言語や文化の違いを超えて、誰もが安心して暮らせる地域社会を築くことは、本町にとっても大きな課題であり、また目指すべき方向であると認識している。また、様々な背景や目的を持つ方々が生活しており、それぞれの立場にに応じて必要とされる支援や地域社会との関わり方は異なる。そのため、画一的ではなく、個々の状況に応じたきめ細やかな対応が重要であると考えている。

3 今後の米政策について

問 米の価格高騰の原因と問題点を洗い出し、米の安定供給と円滑な流通確保に向けた改革を進めることについて。

答 農林水産省は、米の生産量の不足が一般的な米価高騰を招いたとの検証結果を明らかにした。米政策は食料安全保障にも関わる国レ

4 神保原駅北まちづくり
推進事業について

ベルの内容となるが、町の基幹産業を支える農業者に大きく影響を与えるものであり、消費者である多くの町民の生活に直結するものとなる。検証結果に基づき、国において主食である米の安定的な供給が行われる仕組みが構築されるよう、あらゆる機会を捉えて町としての声を関係機関に届けていく。

問 神保原駅北まちづくり推進事業の各々の進捗状況と今後の事業の進め方について。

答 昨年度に県道神保原停車場線のクランクの解消、沿道開発を含む駅北東通り線の整備を組み合わせて、持続可能な駅北地域を具体化するための駅北まちづくり未来ビジョン（案）を作成し、関係者、議員の皆様にお示ししたところである。このビジョンが「持続可能なまちづくり」として県に評価され、今年度から念願



県道神保原停車場線のクランク

5 老いる街路樹のリスク
回避について

問 老いる街路樹の倒木リスク回避を急ぐことについて。

答 街路樹の成長により、信号機や標識及び出入りなど通行時の視認性の低下、害虫等による課題もある。また、過去において、台風時の強風などにより倒木といった事故も発生している。年を重ねるごとに倒木リスクが高くなるため、引き続き、街路樹の維持管理においては細心の注意を払い、実施していく。

であった県道神保原停車場線の新規事業化につながったところである。



沓澤 幸子

問 日常的に『平和・非核』のPRを

答 今後も平和事業のPR充実に努める

1 1 こども誰でも通園制度
について

問 こども誰でも通園制度について、保育士の意見把握、受け入れ場所、保育体制、一時保育を含めた預かり保育の利用ニーズ見込みの進捗状況は。

答 ニーズ調査では、3歳未満児の保護者の半分が利用したいと回答があり、13人分の利用枠を確保する方向。町内保育の施設長会議で制度説明を行い、意向確認をしている。通常保育との両立の観点から、現場保育士の意見を伺い、受け入れ時間の分散、加配や補助人材の活用、導入初期の段階的实施など負担の最小化と質の確保に努めていく。

2 2 国民健康保険について

問 県は、2027年度の国保税率統一を目指している。町は、この間2年ごとに3回、保険税の引上げを物価高騰が続く中行った。今年は次期改定に向け協議

中と思う。県が示す標準保険税にした場合、負担増はどうなるのか。扶養要件がない国民健康保険は、子育て支援に逆行する。来年度の引上げを見送り、県内統一を見送るよう県に求めてほしい。

答 県の運営方針では、令和9年度の準統一、12年度の完全統一を明記している。町は急激な負担増を避けるため、2年ごとの改定を行ってきたが、標準税率との乖離がある。令和8年度中間見直し時に、県に対し町の現状を伝えたい。物価高騰など生活が厳しさを増している中、税率引き上げは本意ではないが、医療給付費は膨らみ続けている。審議会の答申を踏まえ判断したい。

3 3 平和事業について

問 被爆80年の節目事業の検討状況は。古い非核都市宣言塔が撤去された。日常的に多くの町民に「平和・非核」をPRする対策を求

めたい。特に子ども達が、日常的に平和や非核の言葉に触れ考える機会を増やしてほしい。学校図書室にも歴史を学ぶコーナーを。

答 今年度は、終戦80年にちなんだ内容を各種イベントや企画に盛り込んだ。日常的なPRについては、今年度から「核兵器のない平和で健康的な都市づくり宣言」の懸垂幕を、年間を通して掲示している。男女共同参画推進センター等複合化に合わせ、敷地内に男女共同参画と非核都市宣言の看板を設置する。今後も平和事業のPR方法の充実に努める。



役場庁舎前の懸垂幕

答 教育長 11月の人権講演で、平和をテーマとした講演を予定している。8月の校長会で、図書室の平和

コーナーの設置を教育委員会として要望した。各学校も積極的に取り組みたいとしている。

4 4 まちづくり会議について

問 8月広報で公募中の「まちづくり会議」は、2時間×3回開催を予定しているが、第5次総合振興計画の基本理念には5つの柱がある。3回の会議日程、どのような内容を予定しているのか。無作為抽出による住民参加は考えているのか。

答 第6次上里町総合振興計画策定は、町民参加型を目指している。募集の他に、無作為で2000人に町民アンケート実施時に、まちづくり会議参加呼びかけを同封した。他に無作為で2000人にハガキで参加を呼びかけている。会議は、グループで意見を出し合い共有し、最終的にはみんなで考える方向を検討している。必要であれば回数も検討していく。



一般質問

猪岡 壽



問 下水道事業を継続していくのは、厳しいと思うが

答 接続率や、国や県の補助率を高めて、事業を継続する

1 下水道の工事認可外
地域の工事について

問 下水道事業については、工事認可区域外の町民からも下水道工事を願う要望があるが、下水道事業の業績を見ると、維持継続は厳しい状況であるが、町長の見解は。

答 現在の認可区域内の整備期間中に更新を迎える下水道管の時期が重なり、さらに整備費が増えることが想定されるが、認可区域の早期完成を目指すとともに、接続率向上に向けた取組を引き続き実施していく。また、国の補助金が令和9年度より見直されると聞いており、児玉郡市や近隣の自治体と連携して補助金増額を期待し、下水道事業を継続していく。

2 区長のなり手について

問 各地区の区長も決まり、再任された区長さんの話を聞くと、後継者がいないため、再任された区長さんもある。区長さんのなり手が少ないのは、地域にとつて大変なことである。そこで世間一般では、働き方改革でペースアップしている傾向であり、区長報酬を上げることが区長のなり手不足を解消することにつながると思うが、町長の見解は。

答 行政区区によつては、後継者がいない、なり手がいないと言った声がある。町としても区長の業務負担軽減に努めており、区長会に外部講師を招き、担い手不足をテーマにした講演を実施するなど、区長のなり手確保に向けた啓発に取り組んでいる。区長報酬については、区長会で協議し、その結果を町への要望としていただく流れが適切であると考えている。

3 区長の補佐役、班長の
なり手について

問 区長の下で行動し、区長の補佐役である班長さんのなり手不足が、高齢化により増えているが、町として、回覧を回す方法や会費等の回収方法を合理化するなどして、班長の仕事を減らす方法を検討する必要があると思うが、町長の見解は。

答 今後は、班長の負担軽減に資する電子化の段階的な導入を含め、広報紙や回覧版の配布方法について引き続き調査研究していく。

4 11月に任期を迎える民生
委員のなり手について

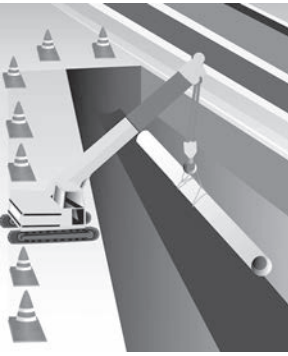
問 前回は、4名の欠員でスタートした。民生委員は大変だ、忙しいというイメージがあり、なり手が少ないのではないか。高齢化社会になり、民生委員の役目は重要となるが、今年は定員不足が防げるのか。

答 民生委員については、大変だ、忙しいとのイメージが、なり手不足の要因になっている。町としてはその先入観の改善に向けて邁進し、民生委員はやりがいのある仕事だと住民に思っていたら、なり手不足を解消したい。

5 創業支援事業の強化
について

問 創業者支援金の増額と支援件数の拡大について創業者を増やし、町内の産業を発展させるため、助成金の増額の検討と商工会とタイアップしPRして創業者支援をしていることをもっと創業者にPRしていただきたい。

答 支援金の増額は、財政面等で難しいが、支援件数の拡大は、早急に検討すべき課題であると認識している。





黛 浩之

問 本郷交差点の右折信号機は

答 本庄警察署へ要望していく

1 消防団員の熱中症対策について

問 近年の異常な気温上昇に伴い、屋外での訓練等には厚生労働省の労働安全衛生規則に則り、消防団員へ空調服を貸与してはどうか。

答 屋外での訓練時には、テントの活用など直射日光を避け熱中症対策をしているが、空調服の貸与も団員の健康を第一に考えた有効な熱中症対策の一つと考える。消防団本部役員会議にて協議し、団員の意見を踏まえながら検討していく。

2 町道児玉工業団地線本郷交差点の信号機について

問 令和6年3月に町道児玉工業団地線が開通し、交通量が激増した本郷交差点では、右折車線があるにもかかわらず矢印信号機がないため、一回で右折できる車両は1、2台となっているのが現状である。

答 この道路は、将来的に国道17号本庄道路から上里



本郷交差点

町を南北に縦断することから、できる路線となることから、今以上に町内外より多くの車両が通行する幹線道路となる。本郷交差点における状況は、町担当課より交通量調査を実施した結果を本庄警察署へ提出してあり、本庄警察署では現状を把握の上、埼玉県警本部に報告、協議していただいている。

3 町内小学校の児童への日傘の支給について

問 児童の学校への登下校では、どのような熱中症対策をされているのか。また、晴雨兼用傘を支給することにより、熱中症対策以外に突然の夕立にも役立ち、す

で全国的には日傘を支給している自治体はいくつもあるが、子育てで日本一の町を目指す町長は、どのようなお考えか。

答 教育長 児童の登下校時の熱中症対策として、下校前に水筒の残量を確認した上で水分補給をこまめに行うよう指導している。また、昨年からは登下校時に休憩できるクールオアシスを設置している。今年度は設置協力施設数を拡大し、子どもたちが安心して登下校できるような対策を行っている。

町長 私が掲げる子育て支援日本一は、何かを支給するといったものではなく、子育て世代の皆さんが、真に子育てに必要なものが何であるかといった視点で考え、行政として何を実施していくべきか取捨選択していく。

4 小・中学校の衛生環境について

問 ここ数年間で各小・中学校の改修工事を行い、校舎はきれいになったが、トイレの臭いや床の汚れなど

は児童、生徒たちでは落とし切れない。これから先もきれいに衛生的に使用してもらえよう、定期的に清掃専門業者へ依頼してはどうか。

答 教育長 トイレの臭いについては通常の清掃だけでは対応が難しいことから、今年度は全小・中学校7校のトイレについて業者による清掃作業を予定しており、すでに清掃を実施した学校もある。

問 小学校校庭・周辺の雑草について、フェンスの内側については防草シートを敷きつめる、またフェンス外側の法面などはマルチを吹き付ける等の施工をしてはどうか。

答 教育長 各学校の状況も違うことから、校庭における安全性、植栽への影響や費用対効果を含めて検討する。



齊藤 崇

問 異常気象に伴う暑さ対策は

答 健康被害を防ぐために周知を徹底

質問 1 町の現状について

問 自衛消防隊・消防団・消火栓の配置等について。

答 自衛消防隊は、ほぼすべての行政区で組織・運営している。火災時等における後方支援に従事している。消防団は4つの分団があり、110名の団員で構成されている。七木地区を管轄する第3分団が29名で、第1、第2、第4分団が25名の配置。年々団員の確保が困難になりつつあるが、現状はカバーできている。事業費としては、年間約1700万円（5年度決算）。消火栓の町内設置数は、地上式が316基、地下式が271基で合計587基。点検等については消防本部で実施している。

問 緊急車両が侵入不可な道路が町内に複数箇所あるが、町の対応は。

答 町には消防車両等の緊急車両が侵入不可能な道路幅員2.5m未満の道路が約34km存在する。広域消防

本部では、これらについて各分署で把握しており、災害発生時にはその情報を共有し救助・救援活動を行っている。町としては今後も拡幅工事など可能な範囲での対応を実施していく。

問 「安心・安全な町」の改善策、こうすれば更に住みよい町になる、と言った考えは。

答 町の最上位計画に基づき展開している。快適で安全なまちづくり、消防・防災分野では広域消防本部と協働、防犯・交通安全面では本庄警察署等と連携して啓発活動を実施している。不足している点については、町民からの声をしっかりと聞き、改善していく。

質問 2 異常気象について

問 今年の夏は、過去に例のない暑さに多くの人が辟易した。こんな中でも年の

事業計画があるわけだが、熱中症対策として時間や時期を変更等配慮した事業はあるのか。また、屋外で業

務に従事する職員の対策は。

答 熱中症対策の観点から防災フェスティバルは例年より1か月半以上先送りした。職員の対策としては、

熱中症対策キットを5年度より導入し、屋外業務等に従事する際に携帯させている。また、熱中症発生時の対応フロー図を作成し、職員への周知を徹底。町民に対しては防災行政無線、HP等で周知を徹底している。

問 農作物等に対する影響・対策は。

答 本町においても6月8月にかけて降水量が極端に少ない状況が続いたが、特に大きな被害は確認されていない。被害が発生した場合は、県農業災害対策特別措置条例や町農業災害対策要綱に基づき対応する。

問 教育現場における暑さ対策について。

答 教育長 今年も災害級の暑さに見舞われ、学校でも児童・生徒の命を守るため、登下校時や学校生活における熱中症対策を講じている。各学校で熱中症指数を定時

に測定・記録し、31℃を超えたら外での活動を中止する措置を講じている。

質問 3 フードロスについて

問 学校給食のフードロスについて、食べ残しや調理残渣が問題視されているが、どのような食育活動を実施しているのか。

答 教育長 残さず食べることを望ましいが、好き嫌いや食べられる量が個々により違いがあり、配膳の量を工夫している。また、児童・生徒が食について学び、食の理解を更に深められるよう、食に関する工夫や学習を推進していく。





戸矢 隆光

問 今後の事業について精査が必要では

答 必要性や優先度を踏まえ行財政運営に努める

1 町の財政（財政調整基金と今後）について

問 上里町の公共事業の実施状況を見ると、事業費

については、補助金や町債、施設整備基金などにより賄い、後の年度には公債費として費用が発生し、地方交付税などの一般財源で対応するわけであるが、多くの事業費を費やす事業は、一時的に基金を取り崩さなければ対応できないのではないかと危惧するところである。財政調整基金の理想は、標準財政規模額の10%と聞いており、年度間の財政の不均衡感への対応や、災害時にもすぐに対応し歳出できるよう繰越金を積み立て、基金残高を確保しているようだが、税収については微増と聞いており、今後計画をされている事業について精査をしながら担当課長の意見を聞いて計画を作成しては。

答 令和6年度末の財政調整基金の現在高は、標準財政規模を確保している。物

2 町長の描いているまちづくり（人口減少・企業誘致・今後の課題と対応）について

問 保育料無償化など、定住促進をうたっているが、効果は。

答 施策の成果が人口減少対策として効果が発揮する際には、一定の時間がかかるとともに、人口減少という課題は複合的な要因が絡ん

でいるため、単一の施策だけでは十分な対応が難しい状況である。そのため、現行事業を着実に進めるだけでなく、複数の施策を連携させ、社会情勢や時代の変化に対応した柔軟かつ総合的な事業展開を推進していく。

問 地方自治体が活性化を目的に企業を誘い込み、お互いがウィン・ウィンの関係になるよう町に進出を促しているのが企業誘致ではないか。企業誘致を積極的に実施することにより、自治体の元気が感じられるが、個人的には現在なかなか進んでいないように感じる。

答 昨年8月に知事を訪問し、産業団地の整備について町の現状を説明し、協力をお願いした。企業誘致に関する取組は、自治体、地域住民、そして企業のいづれにとっても重要な意義を持ち、大きな利益をもたらすものと考えている。

問 今後の課題と対応について。

3 農業施設の老朽化について

問 農業をやっている人の生命線である農業用水がここ数年、漏水などの事故により大きな経費が費やされるとともに、断水などにより不便を来しているが。

答 今後は改良区としての自主財源の在り方も検討していくべきと考え、改良区の在り方や負担割合等についても調査研究を進めていく。



町村議会議員研修会

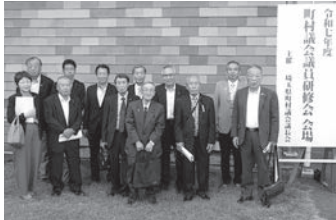
日付:10月8日(水)

会場:吉見町「フレサよしみ」

演題:「町村自治体の防災と議会の役割」

講師:跡見学園女子大学

教授 鍵屋 一 氏



埼玉県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が、10月8日(水)午後1時30分から吉見町「フレサよしみ」で開催された。

●令和6年1月1日に発生した能登半島地震(M7.6)の地震・津波で死者653名(うち災害関連死425名)、死因の多くは住宅の下敷きと高齢者等の災害関連死。→【重要な政策】①住宅の耐震化②高齢者等の避難生活支援③ライフライン④寒冷地対策

●過酷な避難生活対策●感染症・循環器系疾患のまん延による関連死。

【社会の脆弱性】要介護者(高齢単身世帯)増加。

【個別避難計画】高齢者等の避難場所へ誰とどんな方法で避難するか。

【防災訓練が大事】避難・AED・初期消火・救護・避難所開設・炊き出し。

【個別避難計画の効果】計画を作る過程での繋がりが助かる確率をアップする。

【福祉避難所の運用問題】一般の避難所に行けない人等が問題。

【地方議会の役割】《二元代表制の一方の機関》

首長と議会議員は互いに対等の立場で議論を重ねながら住民の為に尽力する。

【災害時の議会・議員の使命】住民の命と尊厳を守ること。

【平時の備え】首長と議員は、あらかじめ危機時の意思決定を住民へ伝えておく。

【直面する危機への対応】「命を守る」を最優先し、避難勧告等を躊躇しない。

【救援・復旧・復興への対応】トップは住民の前に姿を見せ、被災者を励ます必要がある。

災害時の議会・議員の役割

■やってはならないことを規定する。

■情報収集と災対本部への提供⇒窓口を議長に一元化する。

植原 育雄

第4回意見交換会ならびに議会報告会

日にち・場所:

11月1日(土)賀美公民館・七本木公民館

11月8日(土)神保原公民館・上里東公民館・長幡公民館

時間:13時30分~15時30分

内容:①定例会・臨時会の概要

②意見交換(テーマ「みんなで考えよう~上里町の未来について~」)

※各館でいただいたご意見等の詳細については、次号(No.110)に掲載予定です。



↑第1部 議会報告会の様子

議会定例会・臨時会の概要について報告しました



↑第2部 意見交換会の様子

「上里町の未来について」をテーマに、参加した皆様から多くのご意見を頂きました

7月31日(木) 利根川治水同盟治水大会 会場:茨城県牛久市中央生涯学習センター



当日は、国土交通省を始め、利根川流域1都5県の国会議員並びに都県議会議員、首長、市町村議会議員等の

参加を得て、初めに治水同盟会長浜田靖一国会議員より開会の挨拶が次の通りありました。

本同盟は、カスリーン台風による甚大な被害を契機に発足し、半世紀を超え1都5県の利根川流域住民3千万人の悲願である水害の防止と豊かな水資源の確保を目指し、流域の治水・利水環境事業の早期実現に向け、国会及び政府関係機関に対する要望を行ってきた。

続いて、名誉会長の林幹雄氏の挨拶から大会宣言・決議があり、中央大学研究開発機構 福岡捷二氏の「利根川上流域における本・支川一体の流域水収支解析と流域治水への活用」について講演、最後に次回開催地千葉県栄町長の挨拶にて閉会しました。

猪岡 壽

10月29日(水)、30日(木) 視察先:亀田郷土地改良区、江南区郷土資料館、沼垂テラス商店街

亀田郷土地改良区

10月29日、新潟市江南区東早通一亀田郷土地改良区を訪問し、法面の太陽光発電について、土地改良区理事長から説明を頂きました。亀田地区は、日本海の海面以下の土地が約2/3をしめ、日本海の潮位に左右される低湿地帯で、海水が逆流し稲を腐らせてしまう年もありました。昭和16年、食糧確保という戦時行政の一環として、国営土地改良事業が着手されました。基幹排水路を建設し、ここに集められた水をさらに大規模排水機場を建設して信濃川、阿賀野川に排水するという大規模な事業でした。昭和32年に乾田化に成功しましたが、水の脅威がなくなったわけではなく、管内の主要な揚水場や調整ゲートから24時間体制で監視制御されています。この排水機場の電気料の一部を軽減する目的で、空いていた水路法面を活用し平成26年に太陽光発電事業を開始しました。パネルを設置した法面では、草刈りの手間が減ったそうです。



江南区郷土資料館

江南区はかつて「亀田郷」と呼ばれてきた地域の中心に位置しています。亀田郷は「地図にない湖」と呼ばれ、腰ま

で水に浸かるような湛水地帯であり、洪水の常襲地帯でもありました。この地で農業を営み生活の糧を得るために人々は厳しい水との戦いに挑みました。常設展示コーナーでは水と戦った先人の努力、水がむすんだ人、モノ、文化、歴史を学びました。この地から出土した土器には6,000年前のものもありました。奈良、平安時代の各遺跡から、この地が河川跡の側にあり、船着き場があったことから水上交通が盛んであったことがわかりました。

沼垂テラス商店街

新潟市中央区信濃川近くにあった沼垂市場は、当初あった堀を埋め立てて作られました。当時は、「市(いち)」と言われる商店街が立ち並び近くに大きな市場など勤務地が多かったこともあり、買物や飲食をする人々に溢れ、活気に満ちていました。しかし近年では、高齢化や大型スーパーの進出で市場通り商店街は数店を残し、シャッター通りとなってしまいました。現在、(株)テラスオフィスで土地建物を買取り、希望者に分譲、改装費は個人負担とし、ノスタルジックな雰囲気と惹かれた若い開業希望者がメディアの注目と相まって徐々に集まり、2015年に28店が揃い沼垂テラス商店街としてスタートしました。朝市、冬市、夜市を開催し、連日大盛況。商店街の店舗は全て埋まったため、沼垂地区に点在する空き家、空き店舗にも目を向けている。企業主導のまちづくりは、上里町における駅北まちづくりの参考になるのではと感じました。

高橋 正行



議会広報広聴常任委員会

委員会
レポート

日付:10月22日(水)

視察先:群馬県邑楽郡邑楽町

10月22日、広報広聴常任委員会で群馬県邑楽郡邑楽町へ行政視察に行ってきました。視察内容は、「議会 YouTube 配信について」です。現在上里町議会では一般質問の録画配信を行っています。近年では視聴数が伸び悩んでいました。配信までに時間がかかり、情報の鮮度が落ちている事が要因の一つになっていると考えられます。また録画配信を行うために年間62万円も委託料がかかっています。これらの事を改善する手段として、民間事業者が提供する動画共有サービスでYouTubeという物があります。このYouTubeを利用し議会の生配信を実際に行っている邑楽町議会様にメリット・デメリットを教えてくださいました。メリットとしては、YouTubeによる生配信になることで「いつでも」「どこでも」

「だれでも」視聴することが可能になり、情報の鮮度が飛躍的に良くなること。配信は自前で行えるので経費も少なくすむこと。デメリットとしては不適切な発言等は修正されずに配信されてしまうこと。が挙げられました。デメリットの不適切な発言についての対策としては議員一人一人が発言に責任を持ち、誤解されないように務めるしかありません。上里町議会でもYouTubeによる生配信の導入について検討を重ねていきたいです。

石井慎也



文教厚生常任委員会

委員会
レポート

日付:10月27日(月)

視察先:ひまわりこども園、深谷市

ひまわりこども園

さわやかな秋晴れとなった27日、園舎を移転し建替えて7年目、保育所からこども園に変わった「ひまわりこども園」を訪問しました。園児は※1号認定15名を含めて142名です。建替え時に要請に応じて定員を155名に増やしたが子どもが減っていて143名がピークとのことでした。また、保育士不足で時差勤務が組めず時間外勤務が発生しているため、保育士確保や障害児保育の補助金増額が訴えられました。園庭で自由に遊ぶ子ども達。ロープ式三角錐ジャングルジムを自力で登っていたのは2歳児「できる子が挑戦するから大丈夫なんですよ」と園長先生。3歳児以上のランチルームでは、配膳せずに自分で食べる量を決める様に変えた中で生まれた年長さんが食べるように促す微笑ましいエピソードなど、子ども達の成長に応じた見守りや工夫を伺いました。子ども達の笑顔と手振りを受けホックリさせられました。

深谷市アプローチルーム

午後は、深谷市教育委員会のアプローチルームについて学びました。

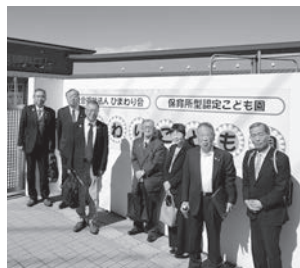
深谷市は、各学校の空き教室を使用して不登校児を支援する「校内教育支援センター」を令和3年から開始し、教員免許を持った総合支援員を増やし、6年度から小中29校すべてに1名の支援員を配置しています。6年度の利用者は374名で、教室に66名、アプローチルームに61名が短時間も含め復帰できています。保護者との面談で利用を決めることが多く、授業によって教室とアプローチルームを選択することもできます。教室復帰よりも不登校児の安心できる居場所になることを重視しながら学びとつながりを大切にしているとのことでした。7年度予算は5,890万円です。教員確保には苦労がある様ですが、不登校児もアプローチルーム利用者も増加傾向とのこと。求められている事業だと感じました。

沓澤幸子

※1号認定=3歳以上の子どもで保護者の就労に関わらず入所できる



ランチルームとステージ



議会日誌

9月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告等、一般質問
- 5日 一般質問
- 8日 全員協議会
- 10日 議案審議（条例改正、補正予算、決算総括説明）
- 11日 議案審議（決算審査意見書報告、総括質疑、委員会付託）
- 16日～24日 決算特別委員会（令和6年度決算審査）

10月

- 1日 全員協議会、特別委員長決算報告等、閉会
- 6日～7日 児玉郡町議会議長会視察研修
- 8日 埼玉県町村議会議員研修会
- 15日 全員協議会
- 児玉都市広域市町村圏組合議会
- 20日 議会広報広聴常任委員会
- 22日 議会広報広聴常任委員会視察研修
- 27日 文教厚生常任委員会視察研修
- 29日～30日 総務経済常任委員会視察研修

11月

- 5～6日 議会運営委員会視察研修
- 12日 議会広報広聴常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 20日 上里町懇話会



編集後記

新内閣が10月に発足し、日本初の女性総理大臣が誕生しました。新たな地方経済対策や経済安全保障等、地方に関わる政策が注目されるとともに、世界各国からも日本への関心が寄せられています。上里町においては、日本人女子初の水上飛行機操縦士・西崎キク氏が空を翔け、教育者として人を育んだその

精神を受け継ぎ、益々の女性活躍社会の進展に期待が膨らみます。上里町議会では11月に第4回議会報告会及び意見交換会を開催し、住民の皆さまと「上里町の未来について」をテーマに意見交換を行いました。住民の皆さまのご意見を広く伺い快適で住みよいまちづくりができるように活用して参ります。今号もご覧いただきありがとうございます。 党 浩之

議会広報広聴 常任委員会

- 委員長 高橋 仁
- 副委員長 植原 育雄
- 委員 石井 慎也、伊藤 覚、金子 義則、戸矢 隆光

第7回12月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 (開会) 一般質問	5 一般質問	6
7	8	9	10	11	12	13
		議案審議	常任委員会	常任委員会	(閉会) 報告・採決	
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間に変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第7回12月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(木)	猪岡 壽	①特別会計3会計について ②下水道事業について ③経常収支比率が上昇した主な要因について
	金子 義則	①上里町の児童生徒に対する子育て支援について ②町民からの意見について
	高橋 勝利	①空き家対策について ②デジタル教科書30年度にも開始について ③駅の必要性及び利便性について ④保育料の完全無償化の検証について
	沓澤 幸子	①一人ひとりを大切にする教育と猛暑対策について ②まちづくりについて ③クビアカツヤカミキリ対策について
5日(金)	高橋 仁	①農業振興について ②公園・緑地の整備について ③青少年健全育成について ④都市計画道路の整備について
	植原 育雄	①ユニクス出入口の交差点改良について ②右折信号機設置について ③空き家対策について ④小中学校の不登校対策について
	新井 實	①歴史・文化・芸術と観光の町づくりについて ②児玉都市1市3町共同で政府が新しく創設を考えている「防災庁」を誘致すべく内閣府に陳情したことについて ③水道スマートメーターの導入について ④御陣場川に架かる柿木橋の架け替えと歩道の設置について ⑤御陣場川、川端の雑木・雑草の生活環境公害について
	戸矢 隆光	①駅北まちづくり事業について ②施設のネーミングライツについて ③町の事業について
	石井 慎也	①高齢者見守りサービスについて ②農業振興課にスマートデバイスを導入することについて ③町の財政と政策について